

「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動) 山陰教区総合基本計画

1. 基本理念

宗祖親鸞聖人は、混迷した世の中に、阿弥陀如来に等しく救われていく往生浄土の教えを示してくださいました。そして苦悩する人々と共に「御同朋・御同行」の精神でお念仏の教えを広く伝えていかれました。宗門にかかわる全ての人々がそのお心を受け、教団の抱える課題克服のために、「御同朋の社会をめざして」という目標を掲げ基幹運動(門信徒会運動・同朋運動)に取り組み、力を尽くしてきました。

専如門主は『念仏者の生き方』で、「国の内外、あらゆる人びとに阿弥陀如来の智慧と慈悲を正しく、わかりやすく伝え、そのお心にかなうよう私たち一人ひとりが行動することにより、自他ともに心豊かに生きていくことのできる社会の実現に努めたいと思います。世界の幸せのため、実践運動の推進を通し、ともに確かな歩みを進めてまいりましょう」とお示しになっています。

私たちは、み教えに生かされ、み教えをひろめ、宗門の英知を結集しながら、御同朋の社会をめざす運動(実践運動)を力強く進めていきます。

2. スローガン

『結ぶ絆から、広がるご縁へ』

3. 実践目標

- ・ <貧困の克服に向けて～^{ダーナ}Dāna for World Peace～>
—子どもたちを育むために—
- ・ 日常の寺院活動

4. 達成目標

<同朋社会部会>

貧困問題の克服に向けた取り組み

差別、平和、環境などの社会問題への取り組み

法名・差別問題への取り組みを各組へ推進する

<寺院活動支援部会>

寺院機能の活性化、教化団体の連携、過疎地域寺院対策

<伝道広報部会>

時代・社会に即応する教学、文書視聴覚伝道

以上